

第9回 ロボット大賞



会 期：2021年3月11日（木）
 共 催：経済産業省（幹事）／（一社）日本機械工業連合会（幹事）／総務省／文部科学省／厚生労働省／農林水産省／
 国土交通省
 対 象：ビジネス関係者、一般
 公式サイト：https://www.robotaward.jp/

■開催内容

◆ロボット大賞とは

幅広い要素技術を統合することによって生み出される次世代のロボット技術（RT）は、科学技術の更なる発展をもたらすとともに、ものづくり分野はもとより、サービス分野、ICT活用分野、介護・医療・健康分野、社会インフラ・災害対応・消防分野、農林水産業・食品産業分野などの幅広い分野における利活用が進むことにより、生産性の飛躍的向上、単純な繰り返し作業や過重な労働等からの解放、急速な少子高齢化が引き起こす労働力不足の解消や、安全・安心な社会の実現に貢献すると期待される。

このため、将来の市場創出への貢献度や期待度が高いと考えられるロボット及びロボットに関連するビジネス・社会実装、ロボット応用システム、要素技術、高度ICT基盤技術、研究開発、人材育成を表彰することにより、ロボット技術の開発と事業化を促進し、技術革新と用途拡大を加速する、社会に役立つロボットに対する国民の認知度を高め、ロボットの需要を喚起するとともに、全国から広く募ることで我が国のロボット技術の動向を把握することを目的としている。

◆第9回ロボット大賞

本年度のロボット大賞は、全131件の応募があり、その中から全15案件を表彰する。新型コロナウイルスの影響もあり、前回開催時より応募総数は少なくなったが、幅広い分野からの応募が集まった。当初は秋口までに表彰式を終えるスケジュールだったが、春の緊急事態宣言発令を考慮し、応募期間を延長することで、応募者の負担を減らし、十分な審査機関を設けることができた。2021年3月11日（木）に受賞者の公表を行い、各主催者より個別授与を行った。

※写真は3月12日（金）に、日本機械工業連合会より「日本機械工業連合会会長賞」「優秀賞」「審査員特別賞」の個別授与を行った際の様子。



主催者挨拶



授与の様子



記念撮影



審査特別委員会委員長総評